医療・介護・福祉など社会保障の拡充を

豊田民報
日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一-六-六
TEL…三四-四七七二
毎週一回発行

2024愛知自治体キャラバンが豊田市へ

県内のすべての自治体を訪問し、医療・介護・福祉など社会保障の拡充と、国や県に意見書の提出を求めて要請する2024自治体キャラバン（愛知自治体キャラバン実行委員会主催）が、10月22日、豊田市で要請と懇談を行いました。今年で45回目を迎えます。（事務局は豊田みよし社保協）根本みはる市議も参加しました。

初めて豊田市から事前の文書回答

文書での事前回答を毎年、要請してきましたが、今年は初めて事前の回答がありました。

要請には、年金者組合、新婦人、民商、住みよい豊田を創る会、国保制度の改善を求める連絡会などの市民団体から参加。新婦人からは、介護職員の人手不足の深刻な実態が話され、年金者組合から、加齢性難聴者の補聴器購入助成補助の制度を利用しやすく改善する要望が出されました。また、マイナ保険証に関わり、紙の保険証を残し、安心して医療にかかることができることが必要ですが、現時点で、資格確認書の自動発行を要望し、自動的に交付する回答がありました。そのほか、子育て支援や生活保護に係る要望など、多岐にわたる要請が行われました。

ここ数年の間に、全県の自治体で要望事項が実施されてきました。18歳までの通院医療費無料制度は、2021年には30%でしたが、今年87%の自治体で実施、加齢性難聴者の補聴器購入助成制度は、2021年は6%が今年は31%まで広がりました。

また、国保への国の財政支援、全額国庫負担による最低保障年金制度の実施、学校給食無償化のための国や県の財政支援を求める意見書の提出も自治体キャラバンで要望しました。

3日行動　マイナ保険証の強要やめよ　戦争より福祉・暮らし優先に

豊田革新懇が11月3日、豊田市駅東デッキで宣伝行動、スタンディングを行いました。参加者はそれぞれのプラスターを持って、また、ハンドマイクで、裏金問題で与党過半数割れに追い込んだ総選挙の結果から、軍備増強、改憲を許さない政治をもとめることや、マイナ保険証の強要は止め、紙の保険証の存続を、などリレートークを行いました。次回は、12月3日（火）午後1時からおこなわれます。

給食費無償化に伴う代替給付事業

豊田市では、子育て支援、教育環境の充実に寄与するとして、市民の要望であった給食費の無償化を令和６年４月から実施しています。

この度、食物アレルギー等を理由に給食を停止し弁当を持参している子などを対象に、給食費相当分の給付金を支給する事業が新たに始まりました。

支給対象者・金額は、下記の内容ですが、その他の不登校の児童生徒や、市外の公立私立学校に通う児童生徒は、現在のところ、対象外です。他市の事例を参考にして、対象者を拡大することが必要です。

● 初回支給時期

令和６年１２月下旬（要申請）

※４月～９月分をまとめて支給

● 対象者

・市内在住の小・中学生で次のいずれかに該当する子【担当課 ：保健給食課】

① 豊田市立の小・中・特別支援学校に通学し、食物アレルギーなどを理由に給食を停止し弁当を持参している

②市外の特別支援学校に通学している

・市内在住の３～５歳児で、次のいずれかに該当する子【担当課 ：保育課】

①市内のこども園等に通園し、食物アレルギーなどを理由に給食を停止し弁当を持参している

②市内のこども園等に通園し、小・中学校の長期休業期間中の園給食で、園の利用者が１０食に満たないことで給食が配送されず、弁当を持参している

③市外の幼稚園等に通園している

④市内・外の認可外保育所・企業主導型保育施設を利用している

・児童発達支援の利用者で次に該当する子【担当課 ：障がい福祉課】

豊田市の支給決定により児童発達支援を利用する３～５歳児で、通所日の活動時間内に自費で昼食を食べている（弁当含む）

● 支給額

各月の対象日数をもとに、支給額を算定します。支給基準は以下のとおりです。

対象日数及び支給額（１か月あたり最大）

対象者 11 日以上 6～10 日

中学生 月額5,000 円 月額2,500 円

小学生 月額4,600 円 月額2,300 円

幼児（3～5 歳児） 月額4,400 円 月額2,200 円

※対象日数が5 日以下の場合は支給なし

金曜行動

原発ゼロ 女川原発 再稼働反対

11月22日(金)18:00

豊田市駅マック横広場ベンチ集合

駅周辺をランタンパレード

寒さ対策をしてご参加を

（雨天決行）

主催：さよなら原発豊田市民行動連絡会